

あいさつ運動の好事例

岡山市立灘崎小学校

(児童数327名 教職員数38名)

のぼりコンテスト

アピールポイント

各クラスで「あいさつ」をテーマにしたのぼりを作成し「のぼりコンテスト」で競うことを通して、あいさつに対する児童の意識が大きく向上しています。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

アンケート調査によると、児童の約8割が「あいさつをしている」と答えています。保護者の3割が「子どもはあいさつをしていない」と回答しています。校門や靴箱など限られた場所ではよくあいさつをしていますが、友達同士や地域の大人に対してはあいさつをしていない傾向が強いです。

■活動内容

毎年11月から12月にかけて運営委員会の子どもが中心となって、「のぼりコンテスト」を開催しています。各クラスで工夫をこらして作成したのぼりを体育館に集め、自分がいいと思うのぼりに投票するコンテストです。投票が多かったクラスに対しては、児童朝会で校長先生が表彰しています。

また、作成したのぼりを立ててあいさつ運動をすることで、あいさつの機運を高めるようにしています。

■取組の参加メンバー

全校児童

■成果・効果

コンテスト開催時期は、あいさつの声が大きくなったり、友達同士であいさつをするようになったりと機運が大きく盛り上がっています。また、自分がどうあるべきかを考え直す機会になっています。